

2021年3月期 決算説明

三菱ケミカルホールディングス
2021年5月12日

2017年3月期 第1四半期よりIFRS (指定国際会計基準) を適用しております。

目次

<2021年3月期 連結決算>

・連結損益計算書	・・・	4
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・	5
・コア営業利益(全社) 増減要因	・・・	6
・事業セグメント別 業績概要	・・・	7
・非経常項目	・・・	11
・連結キャッシュ・フロー計算書	・・・	12
・連結財政状態計算書	・・・	13

<2022年3月期 通期業績予想>

・報告セグメントの変更	・・・	15
・各報告セグメントの事業部門	・・・	17
・業績予想 連結損益計算書	・・・	18
・業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・	19
・配当の予想	・・・	20

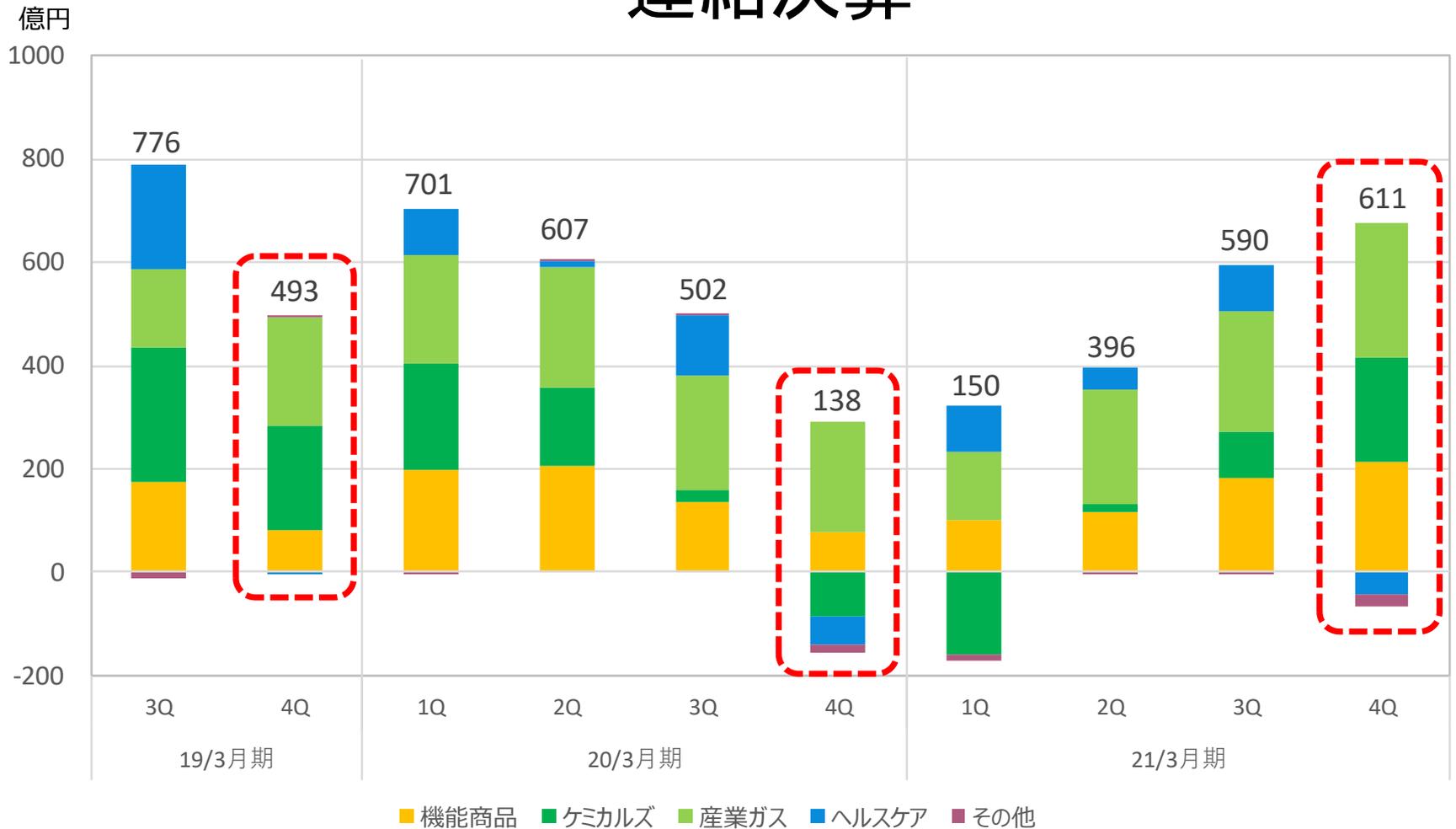
<参考資料①>

・関係会社数と海外売上収益及びコア営業利益	・・・	22
・連結損益計算書 四半期別推移	・・・	23
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	・・・	24
・事業セグメント別 新セグメントベース コア営業利益	・・・	25
・非経常項目 四半期別推移	・・・	26
・設備投資・減価償却費・研究開発費・従業員数	・・・	27
・連結業績の推移	・・・	28
・連結財務指標の推移	・・・	29

<参考資料② 田辺三菱製薬 決算概要>

・2020年度 決算概要	・・・	31
--------------	-----	----

2021年3月期 連結決算



事業セグメント別 コア営業利益 四半期別推移

為替レート (V/\$)	106.3	105.6	105.9	109.0	△ 3.1	△3%
ナフサ単価 (V/kl)	27,600	35,000	31,300	42,900	△ 11,600	△27%

(億円)

		上期	下期	21/3月期 通期	20/3月期 通期	増減	増減率
継続事業 *2	売上収益	15,048	17,527	32,575	35,805	△ 3,230	△9%
	コア営業利益 *1	546	1,201	1,747	1,948	△ 201	△10%
	非経常項目	△ 827	△ 445	△ 1,272	△ 505	△ 767	
	営業利益 (△損失)	△ 281	756	475	1,443	△ 968	△67%
	金融収益・費用	△ 87	△ 59	△ 146	△ 223	77	
	(内、受取配当金)	(28)	(15)	(43)	(42)	(1)	
	(内、為替差損益)	(△ 4)	(28)	(24)	(△ 37)	(61)	
	税引前利益(△損失)	△ 368	697	329	1,220	△ 891	
	法人所得税	△ 31	△ 71	△ 102	△ 523	421	
	継続事業からの当期利益(△損失)	△ 399	626	227	697	△ 470	
非継続事業からの当期利益 *3		-	-	-	169	△ 169	
当期利益(△損失)		△ 399	626	227	866	△ 639	
親会社の所有者に帰属する 当期利益(△損失)		△ 497	421	△ 76	541	△ 617	-
非支配持分に帰属する当期利益		98	205	303	325	△ 22	

*1 内、持分法投資損益

11 118 **129** 134 **△ 5**

*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

*3 20/3月期の数値には株式交換差益(税引後)158億円を含めております。

コア営業利益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

				21/3月期	20/3月期	増減
		上期	下期	通期	通期	
全社	売上収益	15,048	17,527	32,575	35,805	△ 3,230
	コア営業利益	546	1,201	1,747	1,948	△ 201
機能部材	売上収益	2,931	3,315	6,246	6,804	△ 558
	コア営業利益	174	178	352	395	△ 43
機能化学	売上収益	1,805	2,288	4,093	4,377	△ 284
	コア営業利益	41	220	261	218	43
機能商品	売上収益	4,736	5,603	10,339	11,181	△ 842
	コア営業利益	215	398	613	613	0
MMA	売上収益	1,146	1,360	2,506	2,625	△ 119
	コア営業利益	18	130	148	238	△ 90
石化	売上収益	1,826	2,476	4,302	5,344	△ 1,042
	コア営業利益	△ 125	110	△ 15	△ 21	6
炭素	売上収益	838	936	1,774	2,466	△ 692
	コア営業利益	△ 39	48	9	81	△ 72
ケミカルズ	売上収益	3,810	4,772	8,582	10,435	△ 1,853
	コア営業利益	△ 146	288	142	298	△ 156
産業ガス	売上収益	3,814	4,304	8,118	8,433	△ 315
	コア営業利益	356	495	851	880	△ 29
ヘルスケア	売上収益	1,940	1,966	3,906	3,931	△ 25
	コア営業利益	134	45	179	165	14
その他	売上収益	748	882	1,630	1,825	△ 195
	コア営業利益	△ 13	△ 25	△ 38	△ 8	△ 30
【受払差】						
	機能化学	△ 8	29	21	△ 11	32
	石化	△ 148	66	△ 82	△ 1	△ 81
	炭素	△ 14	0	△ 14	△ 16	2
	合計	△ 170	95	△ 75	△ 28	△ 47

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

*2 21/3月期2Qにおいて、クオリカプス社についてはヘルスケアセグメントから機能商品セグメント(機能化学)へ変更しております。

また、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しております。これらに伴い、比較情報としての20/3月期実績を組み替えております。

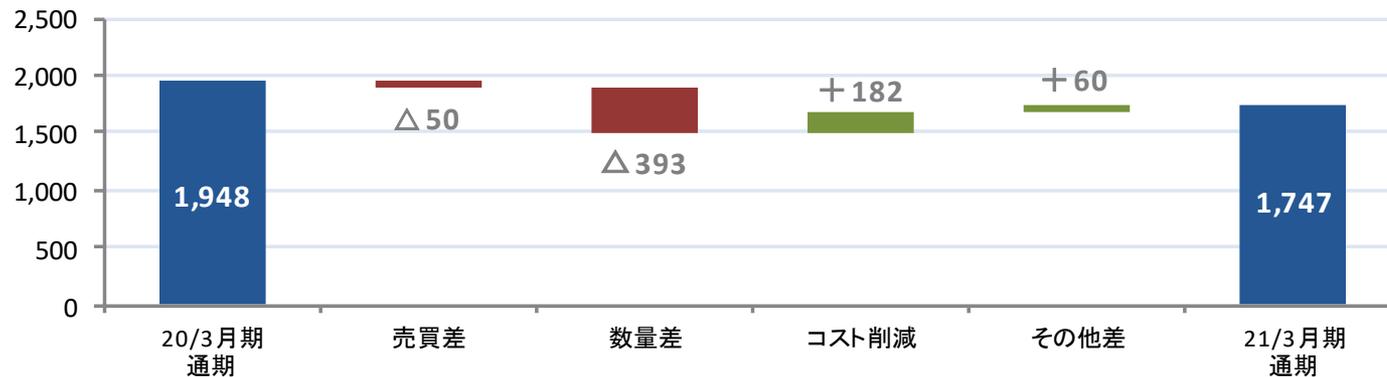
コア営業利益 (全社) 増減要因

(億円)

	21/3月期 通期	20/3月期 通期	増減				
				売買差	数量差	コスト削減	その他差 *1
全社	1,747	1,948	△ 201	△ 50	△ 393	182	60
機能商品	613	613	0	48	△ 221	68	105
ケミカルズ	142	298	△ 156	△ 26	△ 73	34	△ 91
産業ガス	851	880	△ 29	47	△ 75	4	△ 5
ヘルスケア	179	165	14	△ 125	△ 23	76	86
その他	△ 38	△ 8	△ 30	6	△ 1	0	△ 35

*1 その他差には、受払差・持分法投資損益差等の金額が含まれております。

為替影響	△ 9	△ 21	△ 4	-	16
うち換算差		△ 2			



機能商品セグメントの業績概要

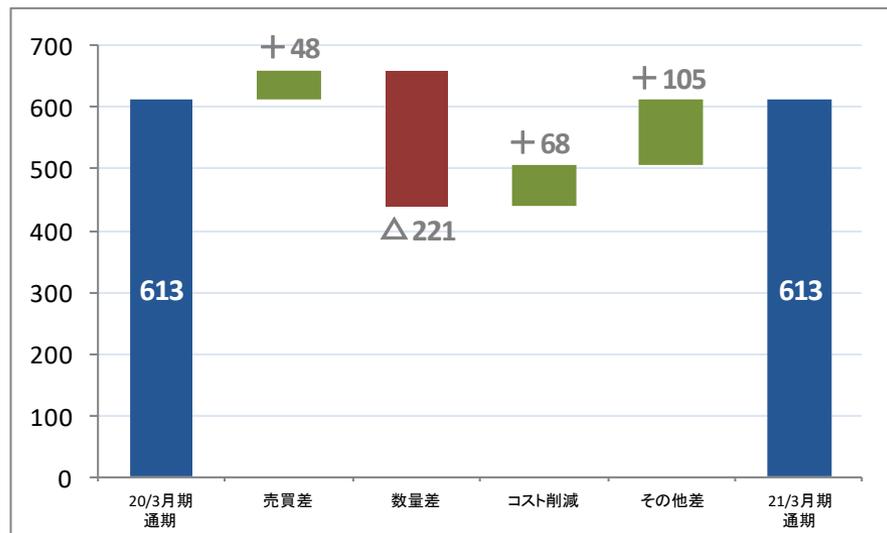
(億円)

		21/3月期 通期	20/3月期 通期	増減
機能部材	売上収益	6,246	6,804	△ 558
	コア営業利益	352	395	△ 43
機能化学	売上収益	4,093	4,377	△ 284
	コア営業利益	261	218	43
機能商品	売上収益	10,339	11,181	△ 842
	コア営業利益	613	613	0

<セグメント内識別 業績概要>

機能部材	売上収益	下期以降、需要は回復しつつあるものの、前年同期比では高機能エンジニアリングプラスチック等の自動車向けの販売数量が減少。
	コア営業利益	高機能エンジニアリングプラスチック等の販売数量の減少等により減益。
機能化学	売上収益	機能性樹脂等の自動車向けの販売数量が減少したに加え、フェノール・ポリカーボネートチェーンにおいて定期修理等の影響により販売数量が減少。
	コア営業利益	定期修理の影響があったものの、下期以降の需要回復に加え、フェノール・ポリカーボネートチェーンの市況が上昇したこと等により増益。

<コア営業利益 増減要因>



<トピックス>

- 三菱ケミカル社は、コンタクトレンズ原料や抗菌剤などのケイ素化合物、半導体プリカーサー等に用いられる金属化合物等の領域において、高度な分子設計・合成技術を保有するジェレスト社を買収することを2020年4月に決定し、同年10月に連結子会社化。同社の広範な知見と、三菱ケミカル社の技術、経営資源、顧客ネットワーク等を組み合わせることで、提供可能なソリューションの大幅な拡充を目指す。
- 三菱ケミカル社と宇部興産社は、2020年3月に発表した電解液事業の統合について、両社の同事業に関する資産を合弁新設社(MUアイオニックソリューションズ社)に承継・統合する旨の共同新設分割計画書に同年7月に合意し、同合弁新設社を10月に設立。

ケミカルズセグメントの業績概要

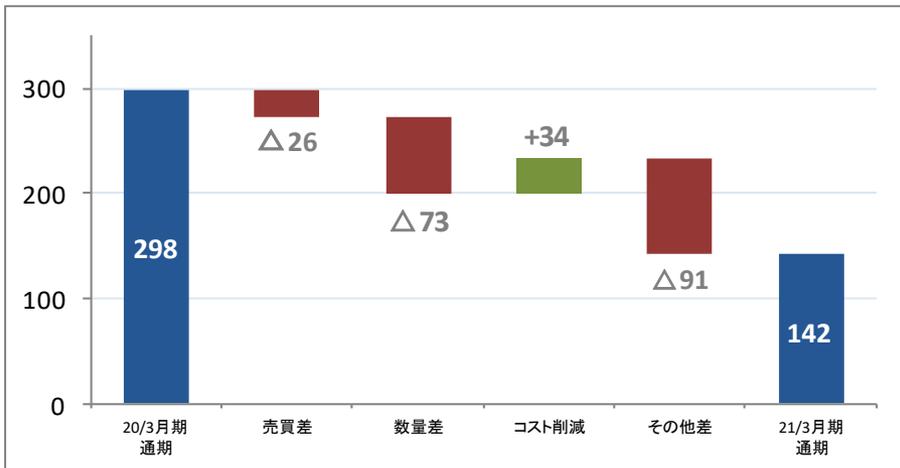
(億円)

		21/3月期 通期	20/3月期 通期	増減
MMA	売上収益	2,506	2,625	△ 119
	コア営業利益	148	238	△ 90
石化	売上収益	4,302	5,344	△ 1,042
	コア営業利益	△ 15	△ 21	6
炭素	売上収益	1,774	2,466	△ 692
	コア営業利益	9	81	△ 72
ケミカルズ	売上収益	8,582	10,435	△ 1,853
	コア営業利益	142	298	△ 156

＜セグメント内識別 業績概要＞

MMA	売上収益	下期以降、MMAモノマー等の市況が上昇しているものの、前年同期比では低水準で推移したことにより減収。
	コア営業利益	市況下落に伴う原料と製品の価格差縮小等により減益。
石化	売上収益	エチレンセンターの定期修理の影響が拡大したことにより販売数量が減少したことに加え、原料価格の下落等に伴い販売価格が低下。
	コア営業利益	定期修理の影響拡大及び原料価格下落に伴う受払差損等はあるものの、原料と製品の価格差が拡大したことにより前期並み。
炭素	売上収益	原料価格の下落等に伴う販売価格の低下及びコークス等の需要減退に伴う販売数量の減少により減収。
	コア営業利益	需要減退に伴う販売数量の減少等により減益。

＜コア営業利益 増減要因＞



＜トピックス＞

- 三菱ケミカル社は、香川事業所における高炉向けコークス事業の最適な生産及び販売体制への構造改革として、コークス炉323門を250門に縮小するとともに、輸出出荷設備を増強することを決定。(2022年3月末稼働予定)
- 三菱ケミカル社は、MMA事業の競争力の強化と供給体制の最適化を図るため、米国ポーモント工場におけるMMAモノマー及びMAA生産(年産13.5万トン)を終了し、2021年3月末に閉鎖。
- 三菱ケミカル社は、米国において、独自技術である新エチレン法を用いたMMAモノマーのプラント(年産35万トン)の建設を前提にルイジアナ州ガイスマーの土地を取得。2025年中の稼働を目標とする。

産業ガスセグメントの業績概要

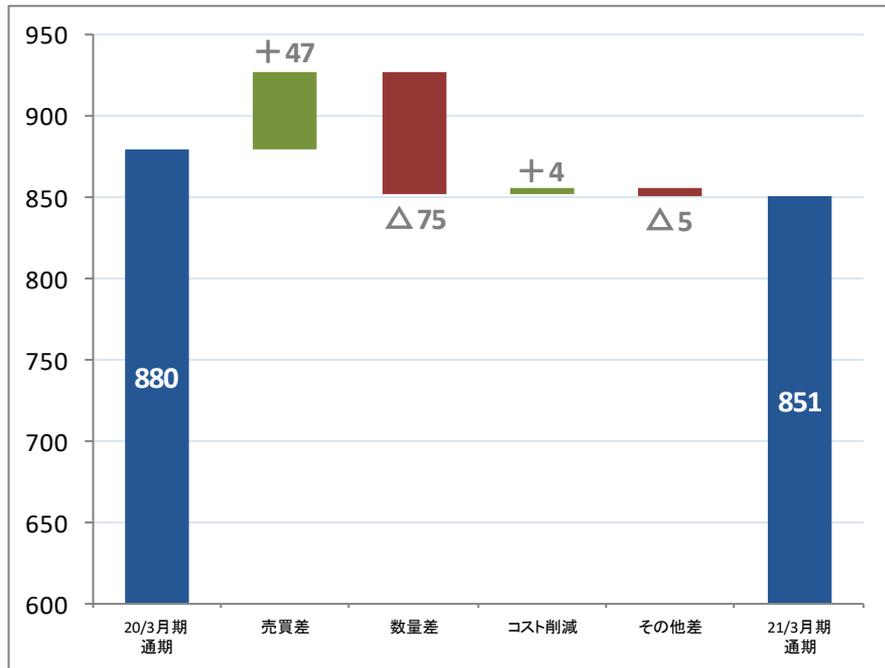
(億円)

		21/3月期 通期	20/3月期 通期	増減
産業ガス	売上収益	8,118	8,433	△ 315
	コア営業利益	851	880	△ 29

<セグメント内識別 業績概要>

産業 ガス	売上収益	エレクトロニクス関連向けガスが好調に推移したものの、国内外の需要が総じて減退したことにより減収。
	コア 営業利益	国内外の需要が総じて減退したこと等により減益。

<コア営業利益 増減要因>



<トピックス>

- 大陽日酸社は、グローバルガスメジャーとして競争力のあるグループ運営体制を構築するため、2020年10月1日に持株会社体制へ移行し、商号を日本酸素ホールディングス社に変更。

ヘルスケアセグメントの業績概要

(億円)

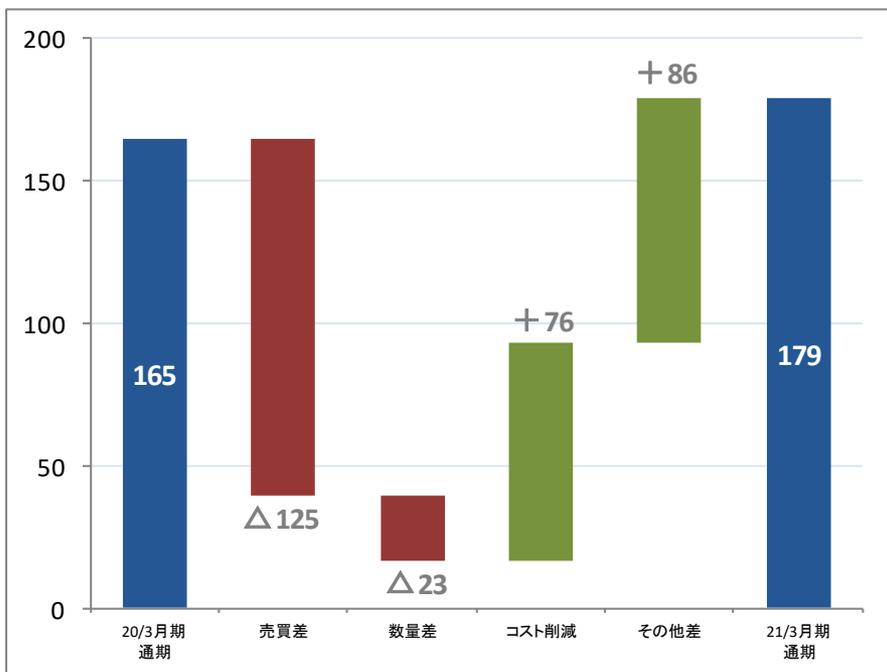
		21/3月期 通期	20/3月期 通期	増減
ヘルスケア	売上収益	3,906	3,931	△ 25
	コア営業利益	179	165	14

<セグメント内識別 業績概要>

ヘルス ケア	売上収益	国内医療用医薬品で薬価改定等の影響を受けたものの、重点品の販売数量が伸長したことにより前期並み。
	コア 営業利益	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動自粛等による販売費や研究開発費の減少により増益。

注) 多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入については、2019年2月に仲裁手続きに入ったため、IFRSの収益認識基準に従いロイヤリティ収入の一部について売上収益の認識を行っておりません。

<コア営業利益 増減要因>



<トピックス>

- 田辺三菱製薬社は、エダラボン(一般名)(米国製品名:「ラジカヴァ」)の筋萎縮性側索硬化症(ALS)の適応症について、日本・韓国・米国・カナダ・スイス・中国に次ぎ、2020年7月にインドネシアで承認を取得。
- メディカゴ社(カナダ)は、新型コロナウイルス感染症の予防をめざした植物由来のウイルス様粒子(Virus Like Particle)ワクチン「MT-2766」について、カナダおよび米国において、第2/3相臨床試験の第3相パートを2021年3月に開始。
- 田辺三菱製薬社は、「ユプリズナ点滴静注100mg」について、視神経脊髄炎スペクトラム障害(視神経脊髄炎を含む)の再発予防を適応症とした国内での承認を2021年3月に取得。
- 生命科学インスティテュート社は、急性心筋梗塞、脳梗塞、表皮水疱症、脊髄損傷に加え、2021年1月に筋萎縮性側索硬化症(ALS)を対象としたMuse細胞製品「CL2020」の臨床試験を開始。

非経常項目

(億円)

	4Q	21/3月期 通期	20/3月期 通期	増減
非経常項目 合計	△ 143	△ 1,272	△ 505	△ 767
減損損失	△ 111	△ 1,183	△ 439	△ 744
関係会社整理損失	△ 74	△ 74	-	△ 74
固定資産除売却損	△ 18	△ 62	△ 99	37
特別退職金	△ 1	△ 55	△ 20	△ 35
工場閉鎖関連損失 引当金繰入額	-	△ 33	-	△ 33
解約違約金	-	△ 19	-	△ 19
固定資産売却益	0	86	79	7
仲裁裁定に伴う利益	41	41	-	41
持分法による投資利益	1	28	-	28
事業譲渡益	14	14	-	14
段階取得に係る差益	-	13	-	13
関係会社株式売却益	3	12	5	7
その他	2	△ 40	△ 31	△ 9

MMA ポーモント工場閉鎖関連損失△236億円(減損損失△194、特別退職金△9、工場閉鎖関連損失引当金繰入額△33)

【セグメント別内訳】

機能商品	△ 113	△ 153	△ 19	△ 134
ケミカルズ	△ 10	△ 270	△ 24	△ 246
産業ガス	△ 10	17	21	△ 4
ヘルスケア	△ 1	△ 796	△ 415	△ 381
その他	△ 9	△ 70	△ 68	△ 2

連結キャッシュ・フロー計算書

	財務諸表ベース		*1 実質ベース	
	21/3月期 通期	20/3月期 通期	21/3月期 通期	20/3月期 通期
営業活動によるCF	4,671	4,520	4,671	4,520
税前損益	329	1,476	329	1,476
減価償却費	2,438	2,398	2,438	2,398
営業債権債務	△ 275	427	△ 275	427
棚卸資産	446	71	446	71
その他	1,733	148	1,733	148
投資活動によるCF	△ 2,170	△ 876	△ 2,870	△ 2,057
設備投資	△ 2,570	△ 2,361	△ 2,570	△ 2,361
資産売却	308	303	308	303
投融資 他	92	1,182	△ 608	1
FCF	2,501	3,644	1,801	2,463
財務活動によるCF	△ 1,428	△ 4,505		
有利子負債	△ 44	373		
子会社株式追加取得 *2	△ 988	△ 3,998		
配当 他	△ 396	△ 880		
現金及び現金同等物の増減	1,073	△ 861		
為替換算差等	141	△ 72		
現金及び現金同等物期首残高	2,282	3,215		
現金及び現金同等物期末残高	3,496	2,282		

*1 実質ベースの連結キャッシュ・フロー計算書は、説明を目的として投資活動CFに含まれる手元運用資金の影響を除いたものです。

*2 田辺三菱製菓株式の追加取得(21年3月期 △954億円、20年3月期 △3,981億円)

連結財政状態計算書

	(億円)		
	21/3月末	20/3月末	増減
現金及び現金同等物	3,496	2,282	1,214
営業債権	7,164	6,985	179
棚卸資産	5,765	6,065	△ 300
その他	1,550	2,161	△ 611
流動資産合計	17,975	17,493	482
固定資産	22,692	22,528	164
のれん	6,719	6,168	551
投融資等	5,486	5,132	354
非流動資産合計	34,897	33,828	1,069
資産合計	52,872	51,321	1,551

	(億円)		
	21/3月末	20/3月末	増減
有利子負債	24,824	23,881	943
営業債務	3,823	3,981	△ 158
その他	8,514	8,951	△ 437
負債合計	37,161	36,813	348
資本金・剰余金等	12,265	12,345	△ 80
その他の資本の構成要素	98	△ 643	741
親会社の所有者に帰属する持分	12,363	11,702	661
非支配持分	3,348	2,806	542
資本合計	15,711	14,508	1,203
負債・資本合計	52,872	51,321	1,551

ネット有利子負債 *1	21,328	20,899	429
ネットD/Eレシオ	1.73	1.79	△ 0.06
親会社所有者帰属持分比率	23.4%	22.8%	0.6%
ROE *2	△0.6%	4.2%	△4.8%

*1 ネット有利子負債(21/3月末)

=有利子負債24,824億円-(現金・現金同等物3,496億円+手元運用資金残高0億円)

注) 有利子負債はリース負債を含む

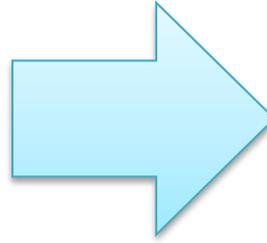
*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

2022年3月期 通期業績予想

報告セグメントの変更

<2020年度>

分野	セグメント	セグメント内訳
機能商品	機能商品	機能部材
		機能化学
素材	ケミカルズ	MMA
		石化
		炭素
	産業ガス	産業ガス
ヘルスケア	ヘルスケア	ヘルスケア
その他	その他	その他



機能商品の内訳を変更

<2021年度>

分野	セグメント	セグメント内訳
機能商品	機能商品	ポリマーズ &コンパウンズ
		フィルムズ &モールドディングマテリアルズ
		アドバンストソリューションズ
素材	ケミカルズ	MMA
		石化
		炭素
	産業ガス	産業ガス
ヘルスケア	ヘルスケア	ヘルスケア
その他	その他	その他

* 機能商品の内訳以外の変更点

- ・エンジニアリングポリマーズ(ポリカーボネート以外)：機能化学→石化
- ・アクリロニトリル：MMA→石化
- ・ユーティリティ：石化→その他

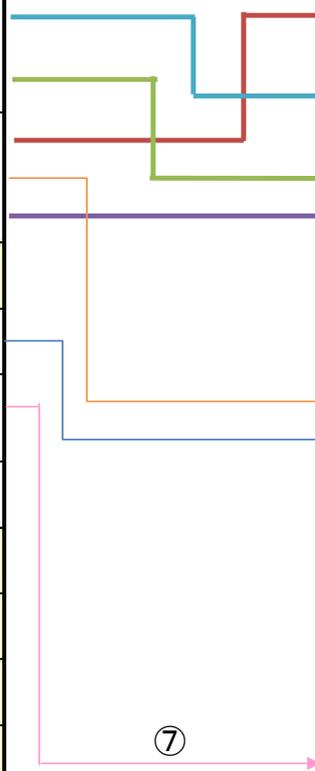
報告セグメントの新旧対応表 (2021年3月期ベース)

<変更前> (億円)

セグメント	セグメント内訳	売上収益	コア営業利益
機能商品	機能部材	6,246	352
	機能化学	4,093	261
機能商品		10,339	613
ケミカルズ	MMA	2,506	148
	石化	4,302	△ 15
	炭素	1,774	9
ケミカルズ		8,582	142
産業ガス		8,118	851
ヘルスケア		3,906	179
その他		1,630	△ 38
全社合計		32,575	1,747

<変更後> (億円)

セグメント	セグメント内訳	売上収益	コア営業利益
機能商品	① ポリマーズ & コンパウンズ	2,718	150
	② フィルムズ & モールディングマテリアルズ	4,138	276
	③ アドバンスドソリューションズ	3,089	171
	④		
機能商品		9,945	597
ケミカルズ	MMA	2,311	131
	⑤ 石化	4,798	17
	⑥ 炭素	1,774	10
ケミカルズ		8,883	158
産業ガス		8,118	851
ヘルスケア		3,906	179
その他		1,723	△ 38
全社合計		32,575	1,747



- ①ポリマーズ、コーティング材、添加剤・ファイン
- ②フィルムズ、炭素繊維、アドバンスドマテリアルズ、アルミナ繊維
- ③アクア・インフラ、半導体、エレクトロニクス
- ④ライフソリューション、電池材料
- ⑤エンジニアリングポリマーズ(ポリカーボネート以外)
- ⑥アクリロニトリル
- ⑦ユーティリティイー

各報告セグメントの事業部門

分野	セグメント	セグメント内訳	事業内容	
機能商品	機能商品	ポリマーズ	ポリマーズ	パフォーマンスポリマーズ、サステイナブルポリマーズ、アセチルポリマーズ
		&コンパウンズ	コーティング・アディティブス	コーティング材、添加剤・ファイン
		フィルムズ	フィルム	パッケージング、工業フィルム、ポリエステルフィルム
		&モールディング マテリアルズ	モールディング マテリアルズ	炭素繊維、アドバンスドマテリアルズ、アルミナ繊維
		アドバンスト	アメニティライフ	アクア・インフラ、ライフソリューション
		ソリューションズ	インフォメーション・ エレクトロニクス	半導体、エレクトロニクス、電池材料
素材	ケミカルズ	MMA	MMA	MMA
		石化	石化	石化基盤、ポリオレフィン、基礎化学品
		炭素	炭素	炭素
	産業ガス	産業ガス	産業ガス	産業ガス
ヘルスケア	ヘルスケア	ヘルスケア	医薬品	医薬品
			ライフサイエンス	ライフサイエンス

業績予想 連結損益計算書

為替レート(¥/\$)	108.0	108.0	108.0	105.9	2.1
ナフサ単価 (¥/kl)	48,000	48,000	48,000	31,300	16,700

(億円)

	上期	下期	22/3月期 予想	21/3月期 実績	増減	増減率
売上収益	17,740	18,860	36,600	32,575	4,025	12%
コア営業利益	1,025	1,275	2,300	1,747	553	32%
非経常項目	△ 20	△ 120	△ 140	△ 1,272	1,132	
営業利益	1,005	1,155	2,160	475	1,685	355%
金融収益・費用	△ 70	△ 90	△ 160	△ 146	△ 14	
税引前利益	935	1,065	2,000	329	1,671	
法人所得税	△ 330	△ 270	△ 600	△ 102	△ 498	
当期利益	605	795	1,400	227	1,173	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	440	530	970	△ 76	1,046	-
非支配持分に帰属する当期利益	165	265	430	303	127	

業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

		22/3月期		22/3月期 予想	21/3月期 実績	増減
		上期	下期			
全社	売上収益	17,740	18,860	36,600	32,575	4,025
	コア営業利益	1,025	1,275	2,300	1,747	553
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	1,390	1,430	2,820	2,718	102
	コア営業利益	75	85	160	150	10
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	売上収益	2,160	2,210	4,370	4,138	232
	コア営業利益	180	170	350	276	74
アドバンスソリューションズ	売上収益	1,690	1,800	3,490	3,089	401
	コア営業利益	70	110	180	171	9
機能商品	売上収益	5,240	5,440	10,680	9,945	735
	コア営業利益	325	365	690	597	93
MMA	売上収益	1,350	1,290	2,640	2,311	329
	コア営業利益	170	150	320	131	189
石化	売上収益	3,130	3,300	6,430	4,798	1,632
	コア営業利益	20	50	70	17	53
炭素	売上収益	1,000	950	1,950	1,774	176
	コア営業利益	50	40	90	10	80
ケミカルズ	売上収益	5,480	5,540	11,020	8,883	2,137
	コア営業利益	240	240	480	158	322
産業ガス	売上収益	4,150	4,440	8,590	8,118	472
	コア営業利益	450	490	940	851	89
ヘルスケア	売上収益	1,950	2,280	4,230	3,906	324
	コア営業利益	30	190	220	179	41
その他	売上収益	920	1,160	2,080	1,723	357
	コア営業利益	△ 20	△ 10	△ 30	△ 38	8

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

配当の予想

当社は、企業価値の向上を通して株主価値の向上を図ることを株主還元の基本方針としており、配当につきましては、今後の事業展開の原資である内部留保の充実を考慮しつつ、中期的な利益水準の30%を連結配当性向の目安とし、安定的に配当を実施することとしております。

21/3月期の1株当り期末配当金予想額は、2020年5月13日発表の通り12円であり、5月19日の取締役会において決議予定です。

22/3月期の配当予想につきましては、上記の方針を勘案し、第2四半期末及び期末の1株当り配当金を、21/3月期の期末配当と同額の12円といたします。これにより、22/3月期における1株当り年間配当予想は24円となります。

		22/3月期 予想	21/3月期 予想	20/3月期	19/3月期	18/3月期
1株当り配当金	第2四半期末	12円	12円	20円	20円	15円
	期末	12円	12円	12円	20円	17円
	合計	24円	24円	32円	40円	32円
1株当り当期利益	期末	68円29銭	△5円32銭	38円08銭	119円22銭	147円14銭
配当性向(連結)	合計	35.1%	—	84.0%	33.6%	21.7%

参考資料①

関係会社数と海外売上収益及びコア営業利益

(会社数)

関係会社数	21/3月期	20/3月期	19/3月期	18/3月期	17/3月期
関係会社合計	666	698	754	708	731
連結会社合計	630	659	705	653	592
連結子会社	487	510	550	515	510
国内	161	174	193	203	193
海外	326	336	357	312	317
ジョイント・オペレーション	4	4	4	4	4
持分法適用会社	137	145	151	134	78
売却目的保有資産に分類しているため 持分法を適用していない会社	2	-	-	-	-

所在地別

(億円)

国内	21,095	23,678	25,956	25,896	24,086
海外	11,480	12,127	12,447	11,348	9,675
売上収益	32,575	35,805	38,403	37,244	33,761
国内	925	995	1,623	2,232	2,115
海外	822	953	1,518	1,573	960
コア営業利益	1,747	1,948	3,141	3,805	3,075

向先別

海外売上収益	14,649 45.0%	15,344 42.9%	16,646 43.3%	15,470 41.6%	13,336 39.5%
--------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

連結損益計算書 四半期別推移

為替レート(¥/\$)
ナフサ単価(¥/kl)

109.7	107.7	109.3	109.1
45,400	40,200	41,300	44,800

107.4	105.3	104.0	107.2
25,000	30,200	31,300	38,800

(億円)

	20/3月期				21/3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	9,164	9,113	9,031	8,497	7,227	7,821	8,506	9,021
コア営業利益 *1	701	607	502	138	150	396	590	611
非経常項目	△ 2	0	△ 202	△ 301	87	△ 914	△ 302	△ 143
営業利益 (△損失)	699	607	300	△ 163	237	△ 518	288	468
金融収益・費用	△ 33	△ 49	△ 77	△ 64	△ 33	△ 54	△ 48	△ 11
(内、受取配当金)	(29)	(1)	(11)	(1)	(25)	(3)	(7)	(8)
(内、為替差損益)	(△ 3)	(7)	(△ 28)	(△ 13)	(0)	(△ 4)	(△ 3)	(31)
税引前利益 (△損失)	666	558	223	△ 227	204	△ 572	240	457
法人所得税	△ 182	△ 194	△ 157	10	△ 122	91	△ 125	54
継続事業からの当期利益 (△損失)	484	364	66	△ 217	82	△ 481	115	511
非継続事業からの当期利益	5	164	-	-	-	-	-	-
当期利益 (△損失)	489	528	66	△ 217	82	△ 481	115	511
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (△損失)	378	435	△ 50	△ 222	52	△ 549	19	402
非支配持分に帰属する当期利益	111	93	116	5	30	68	96	109
	50	31	26	27	2	9	42	76

*1 内、持分法投資損益

*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

(億円)

		20/3月期				21/3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
全社	売上収益	9,164	9,113	9,031	8,497	7,227	7,821	8,506	9,021
	コア営業利益	701	607	502	138	150	396	590	611
機能部材	売上収益	1,718	1,754	1,723	1,609	1,427	1,504	1,628	1,687
	コア営業利益	126	139	90	40	87	87	101	77
機能化学	売上収益	1,102	1,095	1,086	1,094	875	930	1,090	1,198
	コア営業利益	71	65	44	38	12	29	83	137
機能商品	売上収益	2,820	2,849	2,809	2,703	2,302	2,434	2,718	2,885
	コア営業利益	197	204	134	78	99	116	184	214
MMA	売上収益	777	721	592	535	525	621	644	716
	コア営業利益	138	114	5	△ 19	△ 12	30	48	82
石化	売上収益	1,347	1,371	1,373	1,253	842	984	1,156	1,320
	コア営業利益	8	10	10	△ 49	△ 136	11	26	84
炭素	売上収益	717	638	622	489	444	394	464	472
	コア営業利益	60	29	10	△ 18	△ 13	△ 26	13	35
ケミカルズ	売上収益	2,841	2,730	2,587	2,277	1,811	1,999	2,264	2,508
	コア営業利益	206	153	25	△ 86	△ 161	15	87	201
産業ガス	売上収益	2,086	2,109	2,088	2,150	1,829	1,985	2,061	2,243
	コア営業利益	211	232	222	215	135	221	233	262
ヘルスケア	売上収益	1,025	930	1,123	853	952	988	1,057	909
	コア営業利益	91	12	117	△ 55	89	45	90	△ 45
その他	売上収益	392	495	424	514	333	415	406	476
	コア営業利益	△ 4	6	4	△ 14	△ 12	△ 1	△ 4	△ 21

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

*2 21/3月期2Qにおいて、クオリカプス社についてはヘルスケアセグメントから機能商品セグメント(機能化学)へ変更しております。また、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しております。これらに伴い、比較情報としての20/3月期実績を組み替えております。

事業セグメント別 新セグメントベース コア営業利益

(億円)

	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期 予想
全社	3,758	3,141	1,948	1,747	2,300
ポリマーズ & コンパウンズ	319	233	164	150	160
フィルムズ & モールディング マテリアルズ	440	265	280	276	350
アドバンストソリューションズ	173	200	181	171	180
機能商品	932	698	625	597	690
MMA	1,039	885	192	131	320
石化	328	172	12	17	70
炭素	125	246	81	10	90
ケミカルズ	1,492	1,303	285	158	480
産業ガス	575	633	880	851	940
ヘルスケア	753	530	165	179	220
その他	6	△ 23	△ 7	△ 38	△ 30

*1 20年3月期以前の数値及びセグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

非経常項目 四半期別推移

(億円)

	20/3月期				21/3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
非経常項目 合計	△ 2	0	△ 202	△ 301	87	△ 914	△ 302	△ 143
減損損失	△ 7	△ 7	△ 180	△ 245	△ 0	△ 870	△ 202	△ 111
関係会社整理損失	-	-	-	-	-	-	-	△ 74
固定資産除売却損	△ 6	△ 5	△ 23	△ 65	△ 2	△ 30	△ 12	△ 18
特別退職金	△ 0	△ 10	△ 1	△ 9	△ 0	△ 0	△ 54	△ 1
工場閉鎖関連損失 引当金繰入額	-	-	-	-	-	-	△ 33	-
解約違約金	-	-	-	△ 0	-	△ 5	△ 14	-
固定資産売却益	9	10	25	35	81	5	0	0
仲裁裁定に伴う利益	-	-	-	-	-	-	-	41
持分法による投資利益	-	-	-	-	-	-	27	1
事業譲渡益	-	-	-	-	-	-	-	14
段階取得に係る差益	-	-	-	-	-	-	13	-
関係会社株式売却益	4	1	-	-	9	-	-	3
その他	△ 2	11	△ 23	△ 17	△ 1	△ 14	△ 27	2

【セグメント別内訳】

機能商品	2	△ 4	△ 15	△ 2	8	△ 44	△ 4	△ 113
ケミカルズ	0	△ 11	△ 2	△ 11	△ 0	△ 23	△ 237	△ 10
産業ガス	△ 6	10	17	0	-	△ 1	28	△ 10
ヘルスケア	△ 0	8	△ 171	△ 252	81	△ 846	△ 30	△ 1
その他	2	△ 3	△ 31	△ 36	△ 2	△ 0	△ 59	△ 9

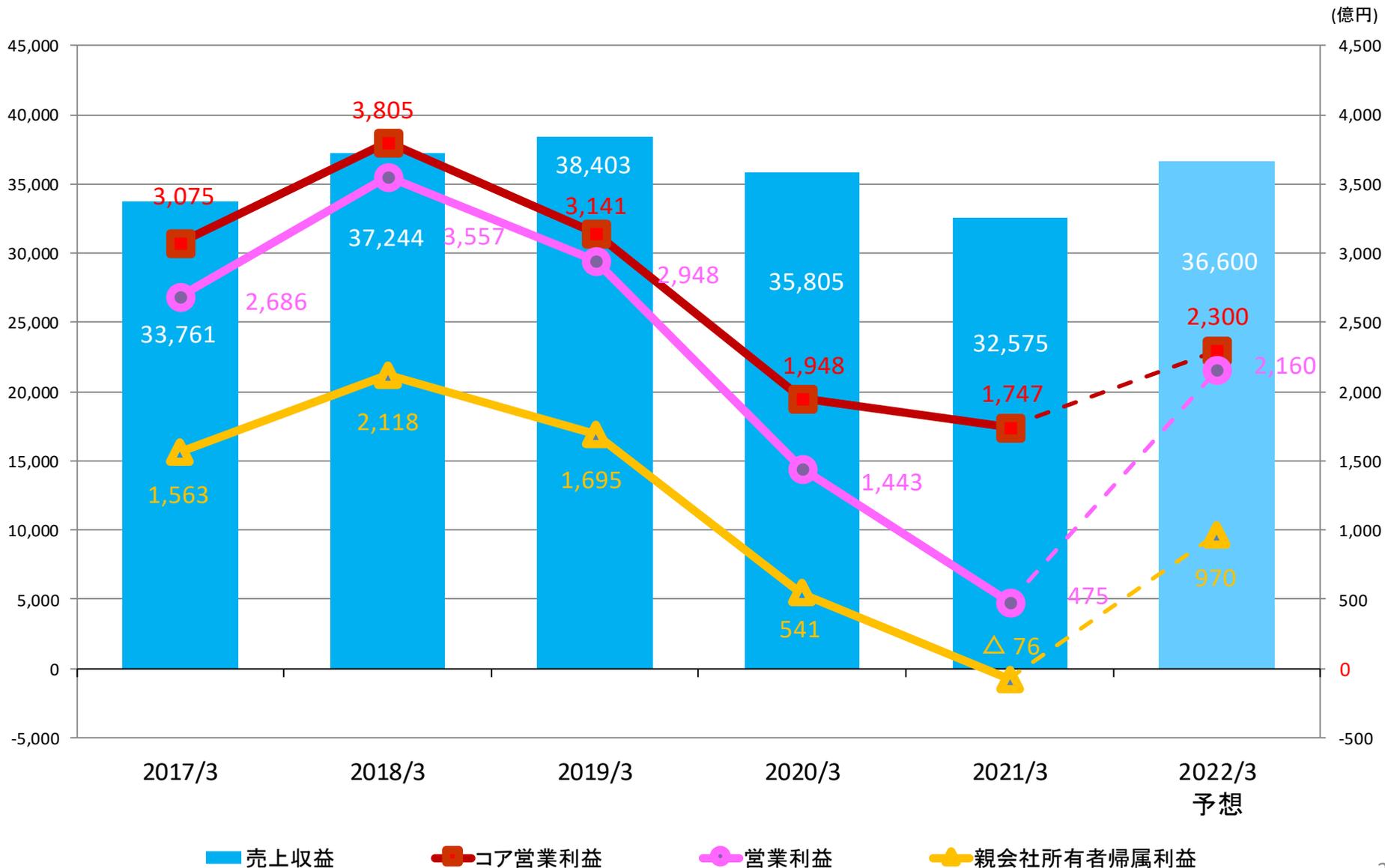
設備投資・減価償却費・研究開発費・従業員数

	設備投資		減価償却費		研究開発費		従業員数
	21/3月期 実績	20/3月期 実績	21/3月期 実績	20/3月期 実績	21/3月期 実績	20/3月期 実績	
機能商品	898	779	640	603	232	254	25,613
ケミカルズ	733	576	641	648	96	98	8,207
産業ガス	696	748	887	862	34	34	19,358
ヘルスケア	209	226	164	169	765	829	7,236
その他	101	75	106	104	134	119	9,193
全社	2,637	2,404	2,438	2,386	1,261	1,334	69,607

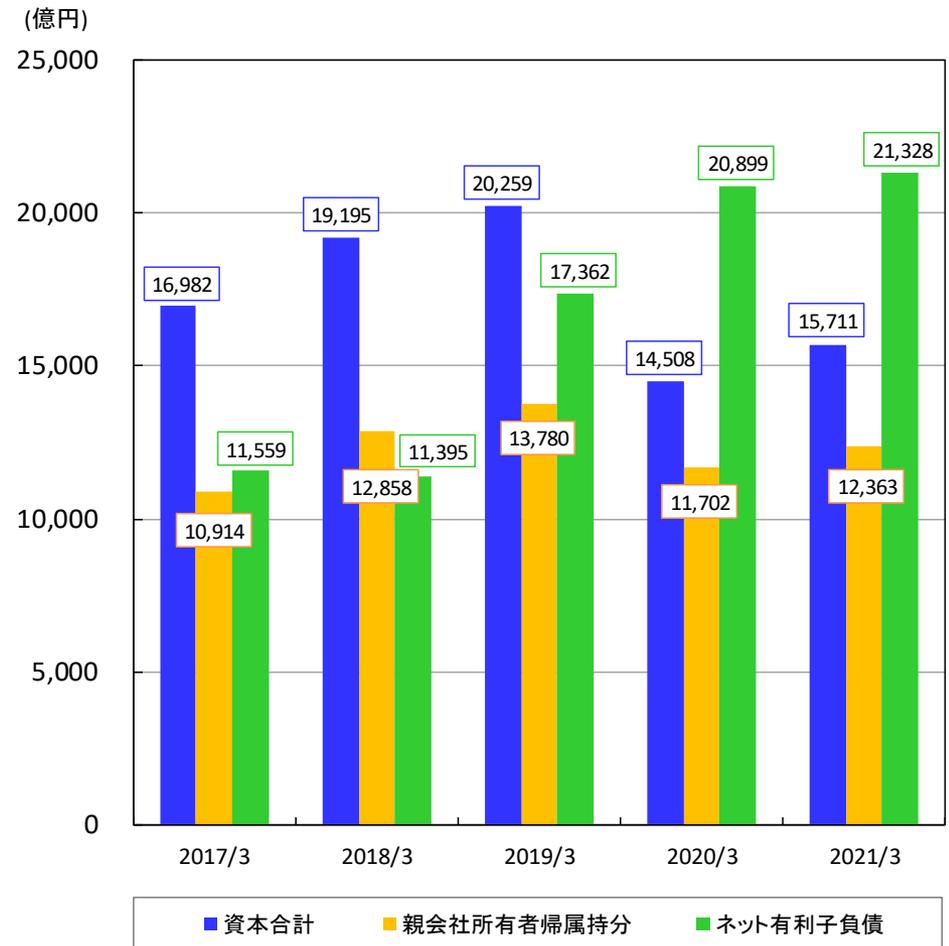
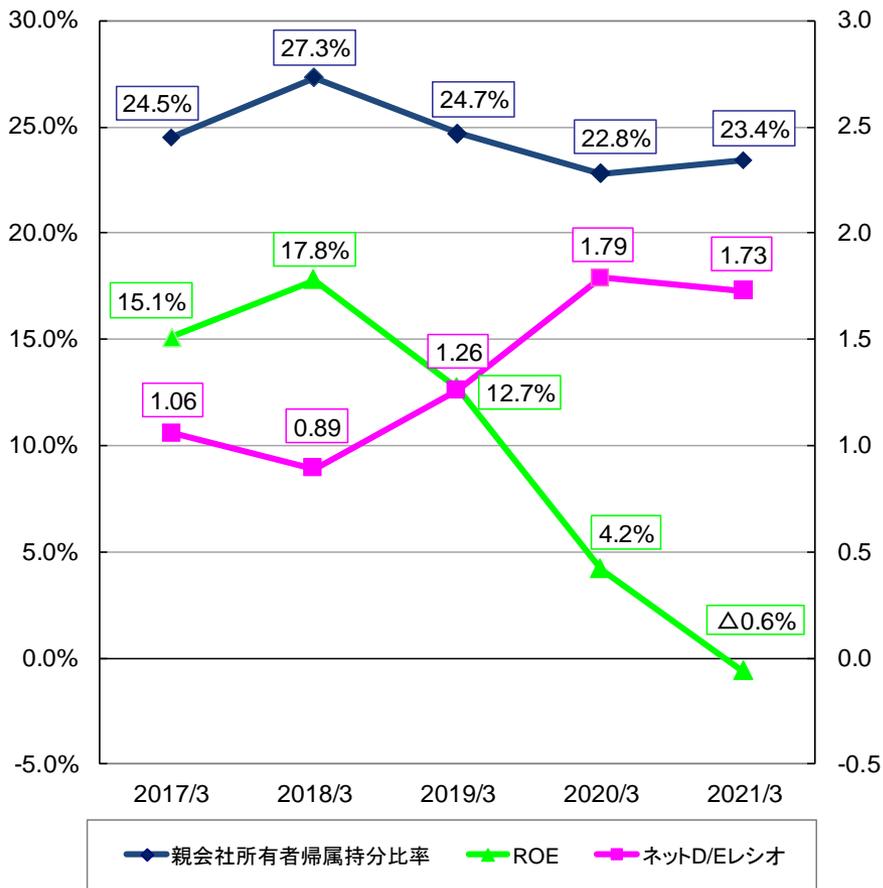
(億円)

(人)

連結業績の推移



連結財務指標の推移



参考資料②

(田辺三菱製薬 決算概要)



2020年度 決算概要
(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年5月12日

決算概要

2020年度 決算概要



	2020年度	前期比較			予想比較	
		2019年度	増減額	増減率	通期予想 2021/2/3公表	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	3,778	3,798	△ 21	△ 0.5	3,730	101.3
国内	3,130	3,140	△ 10	△ 0.3	3,122	100.3
海外	648	658	△ 11	△ 1.6	608	106.5
海外売上比率	17.1%	17.3%			16.3%	
売上原価	1,904	1,810	+ 93	+ 5.2	1,875	101.5
売上原価率	50.4%	47.7%			50.3%	
売上総利益	1,874	1,988	△ 114	△ 5.7	1,855	101.0
販管費等	1,664	1,797	△ 134	△ 7.4	1,685	98.7
内、研究開発費	726	794	△ 69	△ 8.7	725	100.1
コア営業利益	210	191	+ 20	+ 10.4	170	123.7
非経常項目*	△ 796	△ 251	△ 544	-	△ 795	-
営業利益*	△ 585	△ 61	△ 524	-	△ 625	-
金融損益*	8	△ 4	+ 12	-	-	-
当期利益（親会社帰属）*	△ 469	1	△ 470	-	△ 525	-
期中平均レート（米ドル）	105.94円	108.95円			108.00円	

* 費用・損失の場合に△と表示

	2020年度	前期比較			予想比較	
		2019年度	増減額	増減率	通期予想 2021/2/3公表	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品	3,047	3,044	+ 3	+ 0.1	3,023	100.8
重点品	1,830	1,771	+ 59	+ 3.3	1,830	100.0
ワクチン	426	390	+ 36	+ 9.3	416	102.5
長期収載品等	790	883	△ 93	△ 10.5	777	101.7
海外医療用医薬品	502	497	+ 5	+ 1.0	470	106.8
ラジカヴァ	220	231	△ 12	△ 5.1	201	109.2
ロイヤリティ収入等	159	174	△ 15	△ 8.9	152	104.5

決算概要

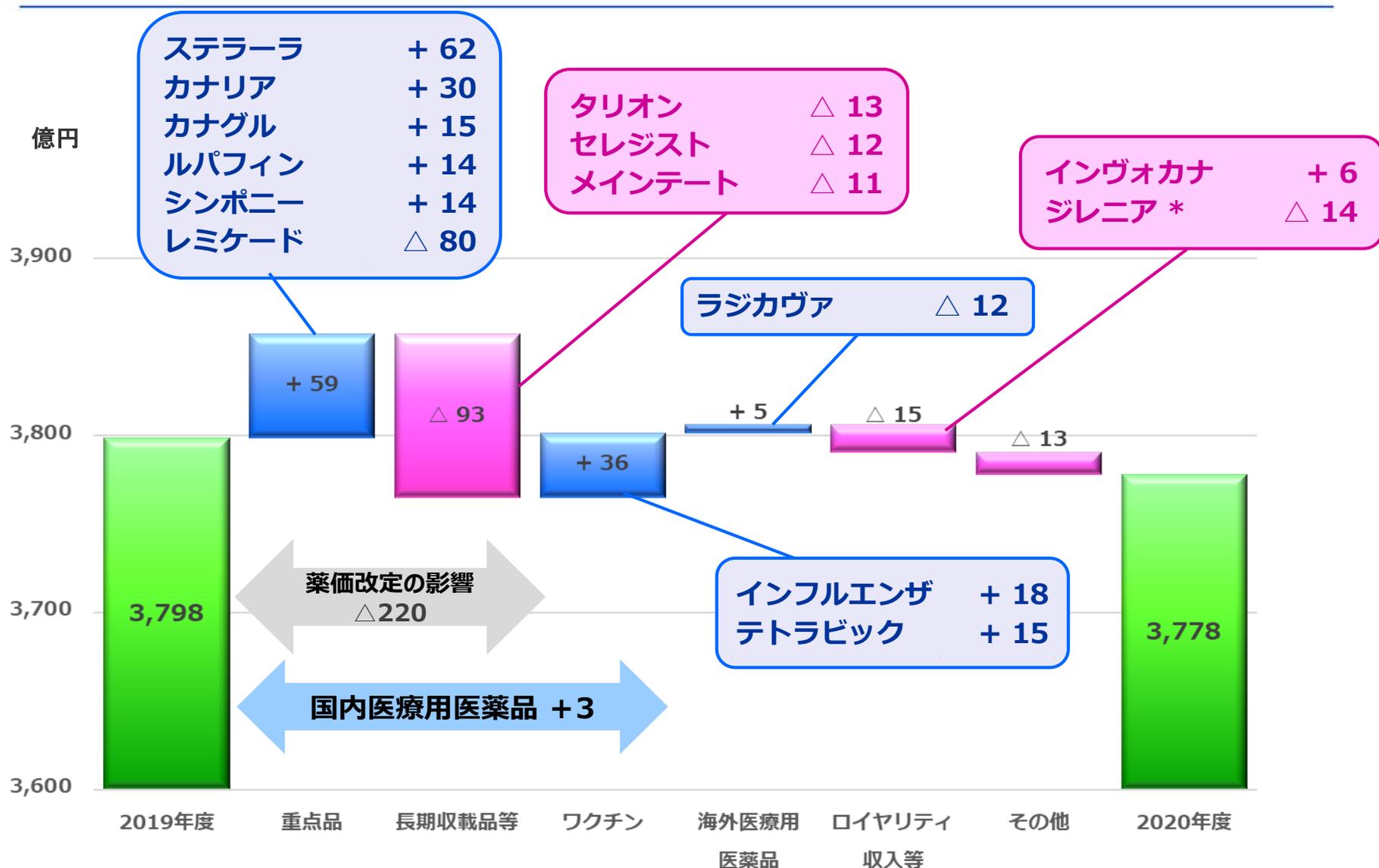
重点品およびワクチン売上収益



	2020年度	前期比較			予想比較	
		2019年度	増減額	増減率	通期予想 2021/2/3公表	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
レミケード	454	534	△ 80	△ 15.0	450	100.8
シンボニー	423	410	+ 14	+ 3.4	427	99.2
ステラール	322	260	+ 62	+ 23.8	319	101.0
テネリア	151	152	△ 1	△ 0.8	149	101.3
カナグル	103	88	+ 15	+ 16.6	98	105.3
カナリア	97	67	+ 30	+ 44.6	93	104.7
バフセオ (8月発売)	3	-	+ 3	-	5	68.8
レクサプロ	153	150	+ 4	+ 2.5	148	103.6
ルパフィン	82	68	+ 14	+ 20.7	100	81.7
イムセラ	41	42	△ 1	△ 3.3	41	100.1
重点品合計	1,830	1,771	+ 59	+ 3.3	1,830	100.0
インフルエンザワクチン	144	126	+ 18	+ 14.0	132	109.1
テトラビック	109	95	+ 15	+ 15.4	111	98.6
ミールビック	61	60	+ 2	+ 2.9	64	95.8
ジェービックV	52	52	+ 0	+ 0.4	53	97.7
水痘ワクチン	50	49	+ 0	+ 0.5	48	103.2
ワクチン合計	426	390	+ 36	+ 9.3	416	102.5
重点品・ワクチン合計	2,256	2,161	+ 96	+ 4.4	2,246	100.5

決算概要

売上収益の増減



* 仲裁手続き中により、一部売上収益の認識を行わないことによる減収を含む

	2021年度 予想	2020年度 実績	増減	
	億円	億円	億円	%
売上収益	4,075	3,778	+ 297	+ 7.9
販管費等	1,890	1,664	+ 226	+ 13.6
(内、研究開発費)	850	726	+ 124	+ 17.2
コア営業利益	260	210	+ 50	+ 23.6
非経常項目*	40	△ 796	+ 836	-
営業利益*	300	△ 585	+ 885	-
当期利益（親会社帰属）*	175	△ 469	+ 644	-

* 費用・損失の場合に△と表示

	2021年度 予想	2020年度 実績	増減	
	億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品	2,863	3,047	△ 183	△ 6.0
重点品	1,453	1,377	+ 76	+ 5.5
ワクチン	370	426	△ 56	△ 13.1
長期収載品等	1,040	1,244	△ 204	△ 16.4
レミケード ^{*1}	365	454	△ 88	△ 19.4
海外医療用医薬品 ^{*2}	1,006	502	+ 504	+ 100.3
ラジカヴァ	192	220	△ 27	△ 12.4
ロイヤリティ収入等	123	159	△ 36	△ 22.6

*1 レミケードにつきましては、2021年度より重点品から除外したため、長期収載品等に含めております。また、前期比較のため、2020年度実績につきましても、レミケードを長期収載品等に組み替えております。

*2 新型コロナウイルスワクチン（MT-2766）の実用化による増収を見込んでおります。

業績予想

重点品およびワクチン売上収益予想



	2021年度	2020年度	増減	
	予想	実績		
	億円	億円	億円	%
シンポニー	412	423	△ 11	△ 2.7
ステラーラ	427	322	+ 105	+ 32.4
テネリア	144	151	△ 7	△ 4.6
カナグル	101	103	△ 2	△ 2.1
カナリア	93	97	△ 4	△ 4.2
バフセオ	13	3	+ 10	+ 278.5
レクサプロ	141	153	△ 13	△ 8.2
ルパフィン	89	82	+ 7	+ 9.0
イムセラ	33	41	△ 8	△ 19.7
重点品合計	1,453	1,377	+ 76	+ 5.5
インフルエンザワクチン	143	144	△ 1	△ 0.8
テトラビック	108	109	△ 2	△ 1.5
ミールビック	57	61	△ 5	△ 7.5
ジェービックV	13	52	△ 39	△ 75.8
水痘ワクチン	41	50	△ 8	△ 16.8
ワクチン合計	370	426	△ 56	△ 13.1
重点品・ワクチン合計	1,823	1,803	+ 20	+ 1.1



田辺三菱製薬

研究開発の状況 等

主なグローバル開発品：進捗状況および2021年度予定



治験コード	適応症	開発段階	進捗状況/2021年度予定
MT-1186	ALS / 経口懸濁剤	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験（長期安全性試験）を実施中 グローバルP3試験の結果を取得後、2021年度3Qに米国での承認申請を予定
ND0612	パーキンソン病	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験を実施中
MT-2766	新型コロナウイルス感染症予防 (植物由来VLP*ワクチン)	P3	<ul style="list-style-type: none"> P3試験を3月に開始 P3試験の結果を取得後、2021年度2Qにカナダでの承認申請手続きを完了し、2021年内の実用化をめざす
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験を実施中 2021年度4Qに、グローバルP3試験の結果を取得予定
	全身性強皮症	P2	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP2試験の開始を3月に発表
MT-3921	脊髄損傷	P1	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度1Qに、グローバルP2試験を開始予定

*VLP (Virus-Like Particle) : ウィルス様粒子

■ その他のトピックス

- MT-4129の導出先ミネリス セラピューティクス社が、高血圧症の適応症で、P2試験の開始予定を4月に発表
- ステリック社の買収により取得したMT-5745(STNM01)の開発中止を5月に決定。無形資産の減損損失39億円を計上

主な国内開発品：進捗状況および2021年度予定

治験コード	適応症	開発段階	進捗状況/2021年度予定
MT-0551	視神経脊髄炎スペクトラム障害 *1	承認	• 3月に国内承認取得、薬価収載後の販売に向け準備中
MT-5199	遅発性ジスキネジア *2	申請	• 4月に国内申請を実施
TA-7284	糖尿病性腎症 *3	P3	• 2021年度3Qに国内申請を予定

*1: 韓国および台湾で申請済み

*2: アジア5か国（シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、韓国）で申請済み

*3: 台湾で承認取得済み

■ その他のトピックス

- **MP-513（国内製品名：テネリア）OD錠**の国内承認を2月に取得。薬価収載後の販売に向け準備中
- **認知行動療法アプリ・MTD-810**の臨床開発および販売に関する導出契約をDTアクシス社と3月に締結

P3試験を3月に開始。2021年内のカナダで実用化をめざす

薬剤分類	植物由来VLPワクチン
オリジン	メディカゴ社（カナダ）
開発ステージ	Phase 3（カナダにおいて、段階的承認申請を開始） ※2021年2月に、FDAからファスト・トラック指定を取得
適応症	新型コロナウイルス感染症の予防
P3試験概要	<ul style="list-style-type: none">被験者：カナダ、米国、その他の国の健康成人、高齢者および基礎疾患を有する成人 約30,000例用法用量：VLPワクチン3.75μgとGSK社のアジュバントを併用し、21日間隔で2回投与評価項目：プラセボを対照とした発症予防効果と安全性
今後の予定	2021年度2Qにカナダでの承認申請手続きを完了し、2021年内の実用化をめざす

2021年3月17日、4月26日 ニュースリリース実施

MT-7117 (一般名：デルシメラゴン)

全身性強皮症のグローバルP2試験を開始

作用機序	選択的メラノコルチン1受容体作動剤
開発ステージ	Phase 2
適応症	<p>全身性強皮症*</p> <ul style="list-style-type: none">皮膚や内臓が硬くなる変化（硬化、線維化）を特徴とし、慢性に経過する疾患。病状の進行等によって、典型的な症状を示す「びまん性皮膚硬化型全身性強皮症」、比較的軽症型の「限局皮膚硬化型全身性強皮症」の大きく2つに分けられる。 <p>【患者数】米国における有病率は、約300人/百万人と推定</p>
P2試験概要	<ul style="list-style-type: none">びまん性皮膚硬化型全身性強皮症患者（18～75歳）を対象としたMT-7117の有効性、安全性および忍容性を評価する試験主要評価項目は、52週時点の治療反応性の指標（ACR CRISSスコア）を用いる。症例数は72例を予定
今後の予定	全身性強皮症のトップラインデータ取得を2022年度4Qに予定

*参考：難病情報センター 全身性強皮症

- 赤芽球性プロトポルフィリン症(EPP)、X連鎖性プロトポルフィリン症(XLP)のグローバルP3試験を実施中

2021年3月31日 ニュースリリース実施

MT-0551

(一般名：イネビリスマブ、国内製品名：ユプリズナ)



3月に視神経脊髄炎スペクトラム障害の国内製造販売承認を取得

作用機序	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤
オリジン	ホライゾン・セラピューティクス社* (アイルランド)
適応症	視神経脊髄炎スペクトラム障害（視神経脊髄炎を含む）の再発予防 ・ 重度の視神経炎と横断性脊髄炎を特徴とする中枢神経系の自己免疫疾患で、指定難病とされている。 ・ 再発を繰り返し、1回の再発で失明や車いす生活に至ることもある。 【患者数】約4,000人（日本）
特長	・ B細胞から抗体産生細胞（形質芽細胞/形質細胞）まで広く除去できる新規メカニズム ・ 投与間隔が半年に1回で利便性が高い ・ 2020年2月に、日本で希少疾病用医薬品に指定
今後の予定	薬価収載後の販売に向け準備中

*2021年3月に、ビエラ・バイオ社を買収し、完全子会社化

- 重症筋無力症、IgG4関連疾患のグローバルP3試験を実施中(ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発)

2021年3月23日 ニュースリリース実施

MT-5199 (一般名：バルベナジン)

4月に遅発性ジスキネジアの国内申請を実施

作用機序	小胞モノアミントランスポーター2 (VMAT2) 阻害剤
オリジン	ニューロクラインバイオサイエンシズ社 (米国)
適応症	遅発性ジスキネジア <ul style="list-style-type: none">抗精神病薬などを長期間服用することで生じる不随意運動 (自分では止められない動き)症状は患者さんごとに異なり、舌を左右に動かす、口をもぐもぐさせるなど、顔面に主に現れるが、四肢や体幹部でも認められる。重症になれば嚥下障害や呼吸困難を引き起こす可能性がある。
特長	<ul style="list-style-type: none">国内初の遅発性ジスキネジアの治療薬*経口投与による1日1回の服用
今後の予定	2022年度の上市を予定

*米国では、2017年に承認。ニューロクラインバイオサイエンシズ社により上市済み (製品名：INGREZZA)

2021年4月22日 ニュースリリース実施

2型糖尿病治療における 「新たな選択肢」



「テネリア OD錠」

- **DPP-4阻害薬初のOD錠(口腔内崩壊錠*)**
- 2021年2月5日製造販売承認取得、薬価収載後速やかに販売開始予定。第一三共とのコラボレーション
- 国内経口糖尿病薬の市場：約4,764億円 (出所：IQVIA 2021年2月MAT、薬価ベース)
糖尿病が強く疑われる人：約1,000万人
(出所：厚生労働省 平成28年 国民健康・栄養調査報告 <https://www.mhlw.go.jp/content/000681180.pdf>)
- 糖尿病有病者の約78%が65歳以上の高齢者
(出所：厚生労働省 令和元年 国民健康・栄養調査報告 <https://www.mhlw.go.jp/content/000710991.pdf>)
- 2型糖尿病治療における「新たな選択肢」を提供し、高齢の患者さんや嚥下機能が低下した患者さんにおける更なる利便性や服薬コンプライアンスの向上が期待されます

*口腔内崩壊錠は、舌の上に乗せると唾液あるいは少量の水分により数十秒で崩壊するため、一般の方のみならず、錠剤をうまく飲み込めない高齢者や水分摂取制限を受けている方にとっても有用

(出所：独立行政法人医薬品医療機器総合機構ウェブサイト <https://www.pmda.go.jp/safety/consultation-for-patients/on-drugs/qa/0002.html>)

主な開発パイプライン 一覧

2021年4月25日現在

今回の進捗



領域	品目	開発地域	想定適応症	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	MT-1186	グローバル	ALS/経口懸濁剤					
	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本	視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD)					
		日本*	重症筋無力症					
MT-5199	日本	遅発性ジスキネジア						
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性強皮症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-5547	日本	変形性関節症					
	MT-0551	日本*	IgG4関連疾患					
ワクチン	MT-2766	グローバル	新型コロナウイルス感染症の予防					
	MT-2654	グローバル	季節性インフルエンザの予防 / 高齢者					
	MT-2355	日本	5種混合ワクチン**					
その他	TA-7284	日本	糖尿病性腎症					

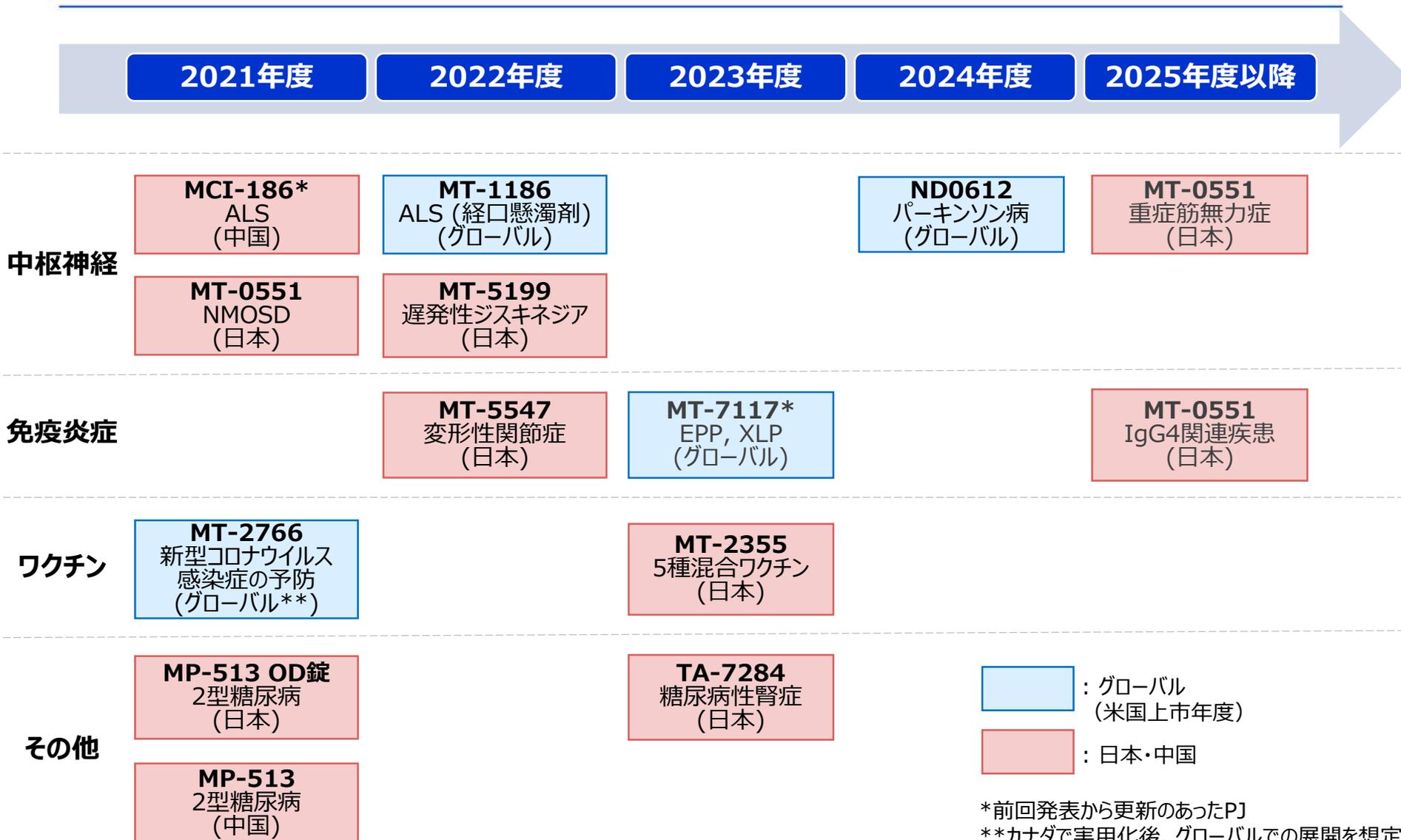
* ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発 (グローバル試験実施中)

** 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎および Hib感染の予防

アライアンス活動中

領域	品目	開発段階	想定適応症
中枢神経	MT-8554	P2	更年期に伴う血管運動神経症状
その他	MT-3995	P2	非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)

主な開発パイプラインの上市計画



: グローバル
 (米国上市年度)
 : 日本・中国

*前回発表から更新のあったPJ
 **カナダで実用化後、グローバルでの展開を想定

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは情電・ディスプレイ関連製品、高機能成形材料、高機能ポリマー、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。

但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

以上